

## 秋季における人身海難の傾向と対策



秋季には、釣り中の人身海難が多く発生します。

その傾向と対策を知って、未然に人身海難を防ぎましょう！

平成30年9月  
交通部安全対策課

## 釣り中の海難の傾向

### 【全体】

- 釣り中の海難は秋季に多く発生
- 釣り中の海難では海中転落が約8割

### 【釣り中の海中転落海難】

- 単独行動は死亡率が高い
- 発生場所は港内が約7割、磯場が約2割
- 救命胴衣を着用すると死亡率が低下



## 対策のポイント



- 必ず複数人で行動しましょう
- 夜間はライトを使用し、足元に注意しましょう
- 立入禁止区域内での釣りや、飲酒をしての釣りはやめましょう
- 磯場では突然の高波に注意しましょう
- 救命胴衣を常時着用しましょう

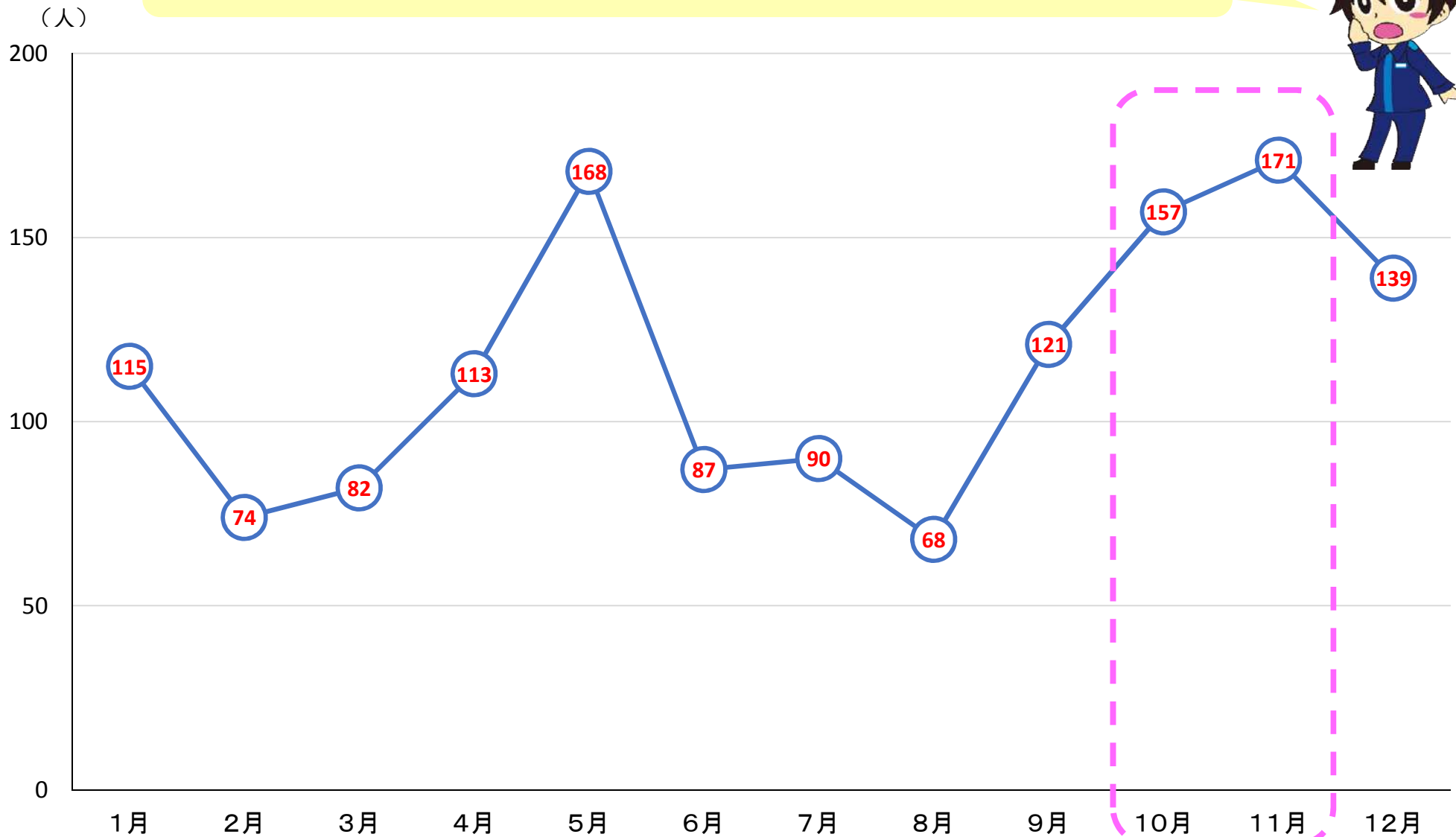
注意喚起リーフレット「釣り中の事故に注意」

[https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20180905\\_fishing\\_accident.pdf](https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20180905_fishing_accident.pdf)

## 2. 釣り中の海難は秋季に多い！

### 月別 マリンレジャーに伴う人身海難発生状況（H25-29累計）

釣り中の海難は、10・11月に増加します。



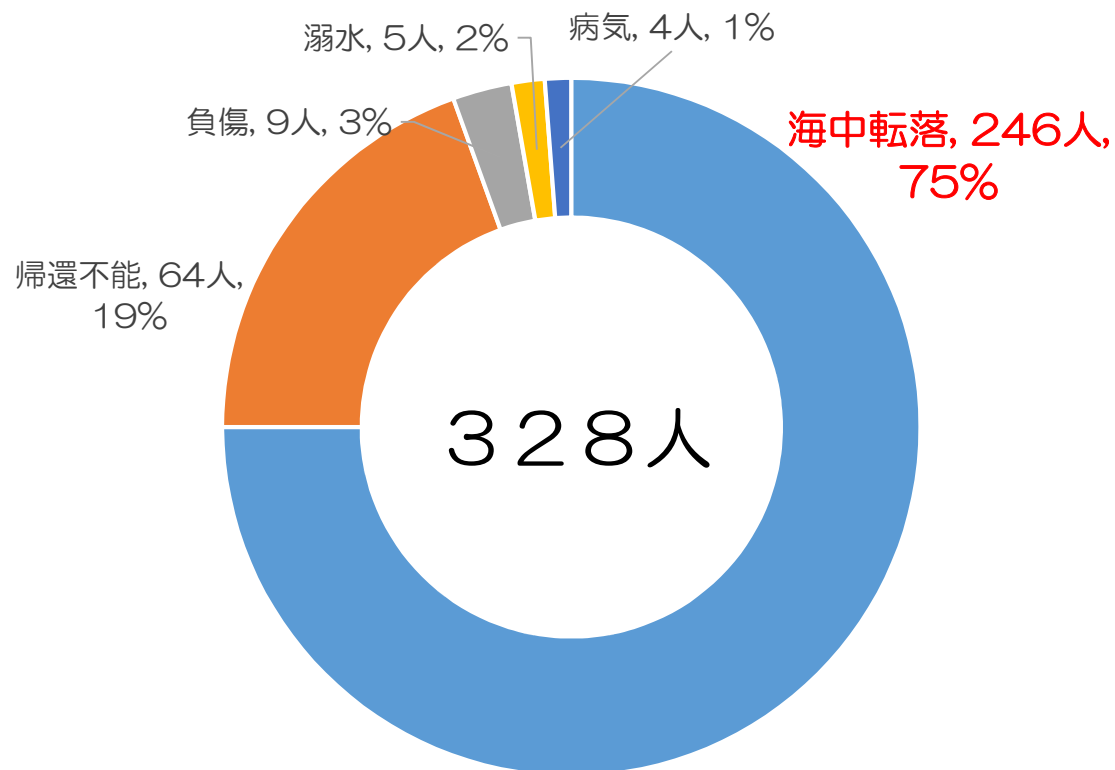
## 釣り中の人身海難 事故内容 (H25-29年 10・11月累計)



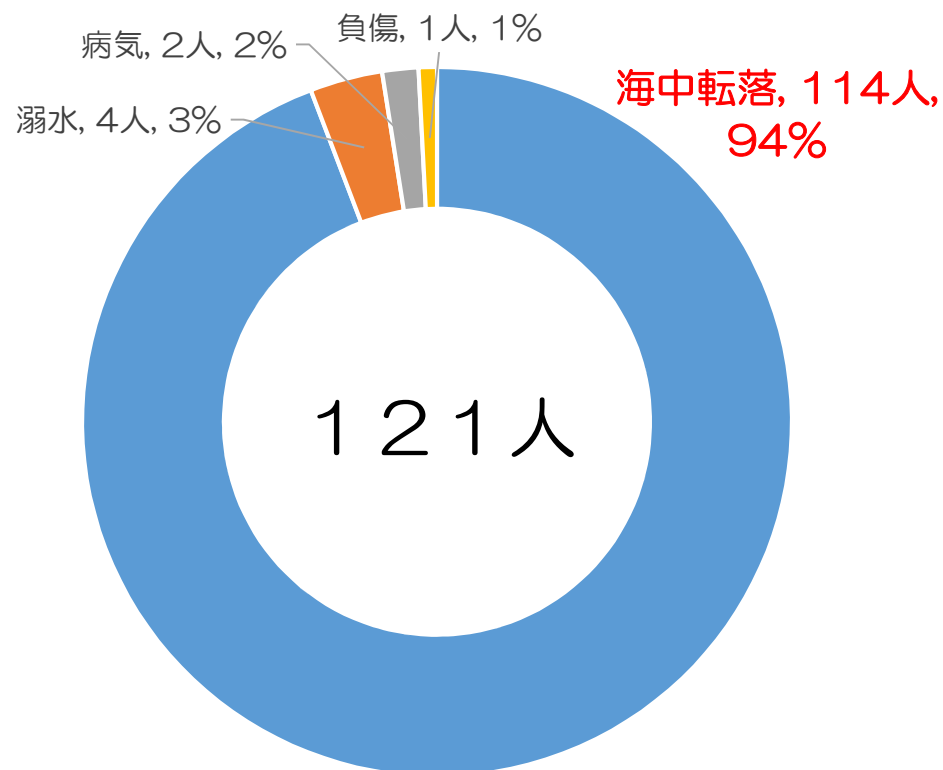
釣り海難の約8割が海中転落です。

海中転落は死者・行方不明者が発生した海難の約9割を占めています。

#### 【事故内容別の割合】



#### 【死者・行方不明者が発生した海難の事故内容別の割合】



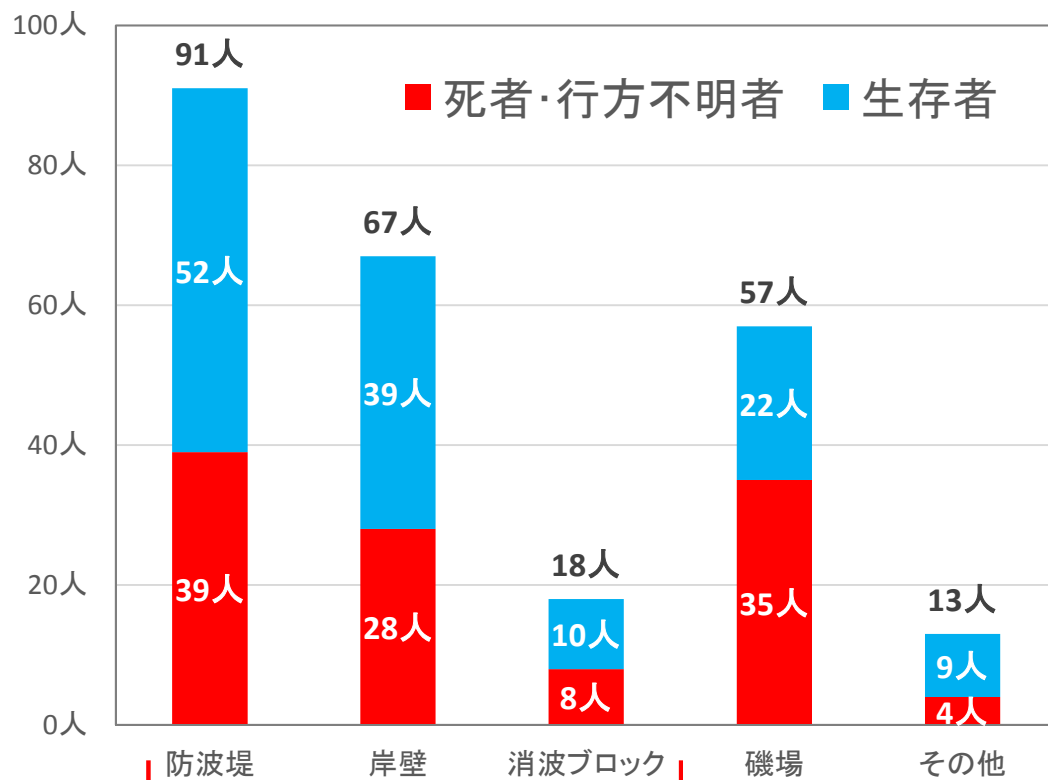
# 4. 港内でも救命胴衣を着よう！

## 釣り中の海中転落海難 場所別発生状況 (H25-29年 10・11月累計)



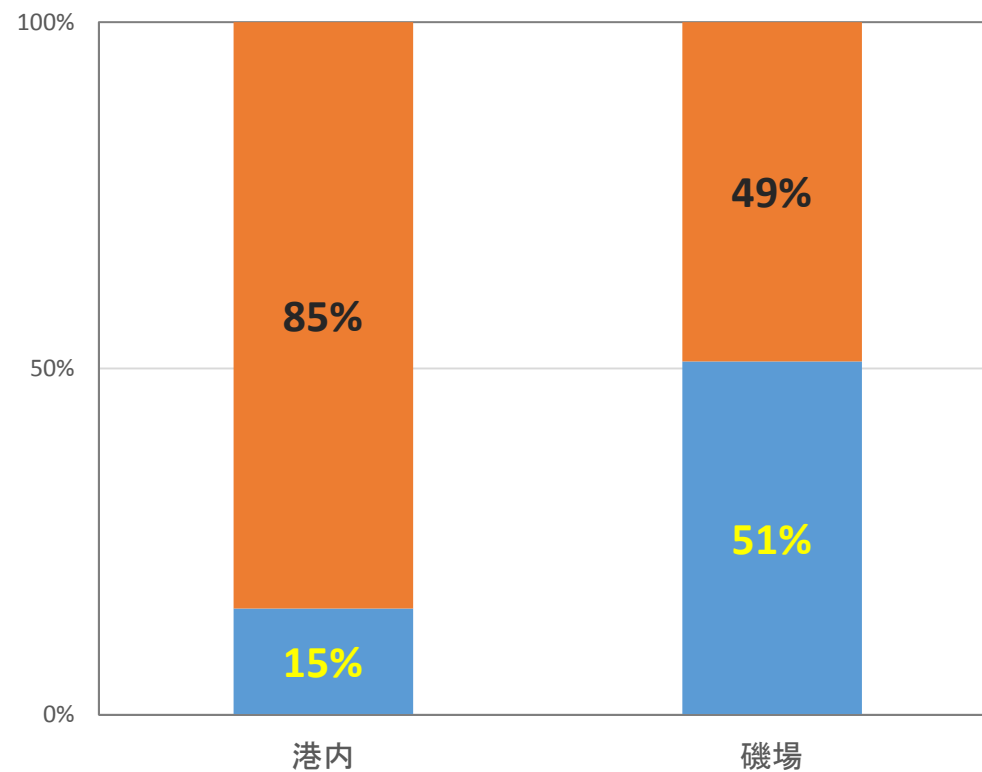
約7割は港内で発生しています。身近な場所でも注意して、救命胴衣を必ず着用しましょう。

【場所別発生状況】



港内で約7割発生

【場所別救命胴衣着用状況】



■ 着用 ■ 非着用

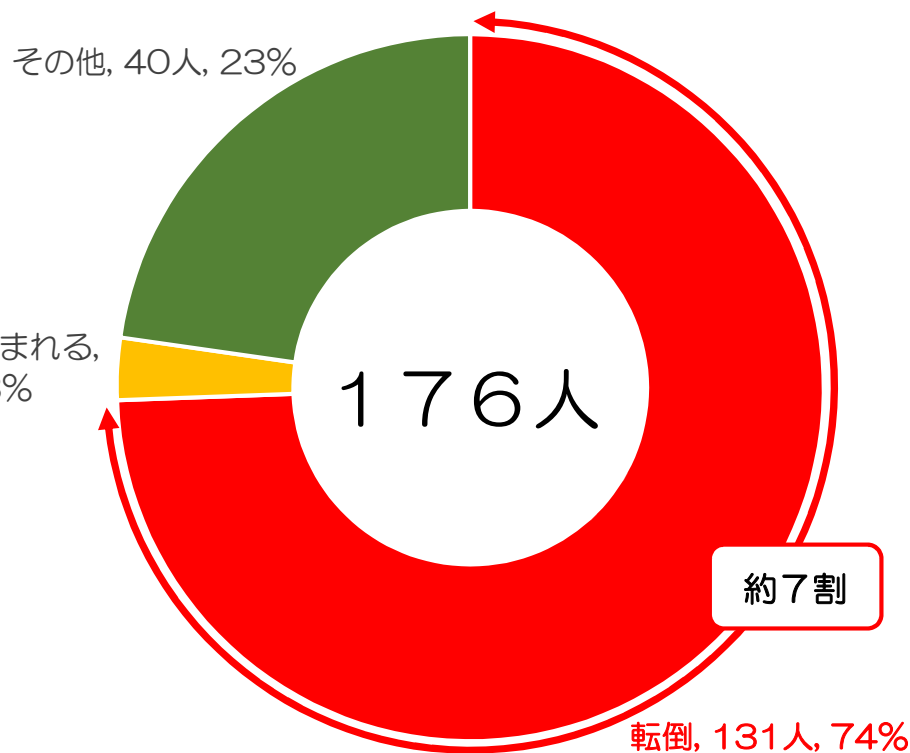
## 釣り中の海中転落海難 港内における発生状況と主な事例 (H25-29年 10・11月累計)



港内での海中転落海難は足を踏み外したり、バランスを崩して落水するケースが**約7割**を占めています。

### 【事故形態別の割合】

### 【主な事例】



#### 【事例1】

夜釣りのため防波堤上を移動中、誤って足を踏み外し落水したもの。

→ 夜間はライトを使用し、足元に注意しましょう！

#### 【事例2】

立入禁止の防波堤で釣り後、進入禁止柵の横を通り抜けようとしたところ、手足を滑らせ落水したもの。

→ 立入禁止区域での釣りはやめましょう！

#### 【事例3】

岸壁で座りながら飲酒しつつ釣り中、立ち上がろうとした際によろめいて落水したもの。

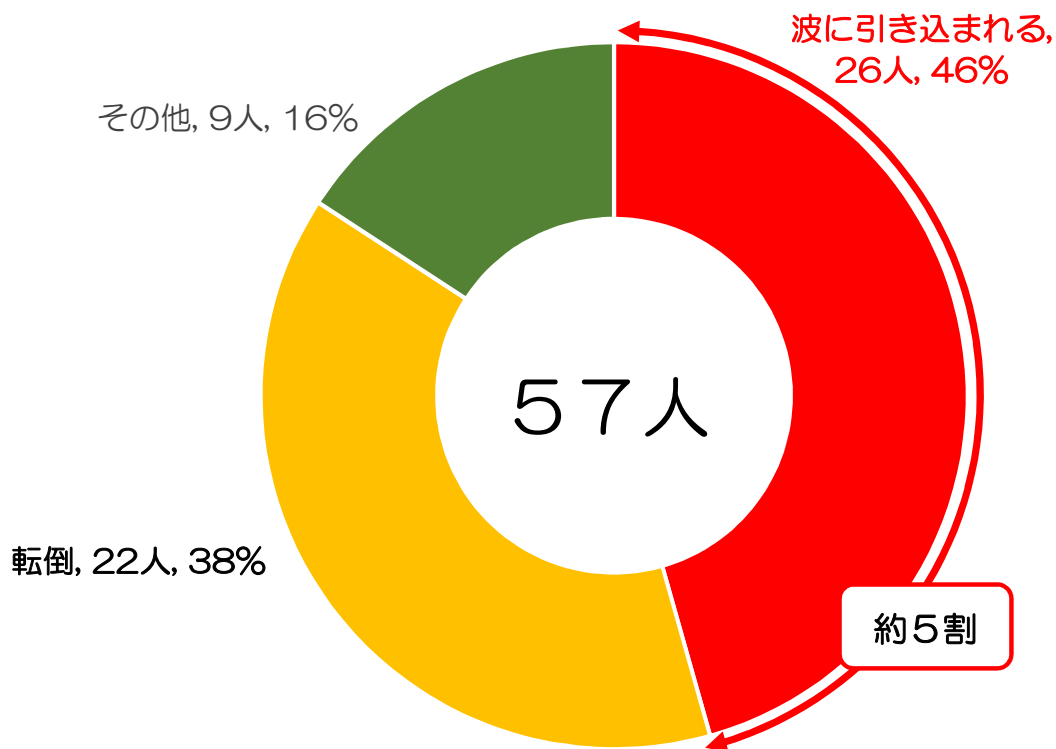
→ 飲酒をしながらの釣りは危険です！

## 釣り中の海中転落海難 磯場における発生状況と主な事例（H25-29年 10・11月累計）



磯場での海中転落海難は波にさらわれるケースが多く発生しています。

### 【事故形態別の割合】



### 【主な事例】

#### [事例1]

波しぶきを受けながら釣り中に、膝上約20cmの波を受けて体全体が浮いた状態となり、そのまま海中に引き込まれたもの。

突然の高波に注意しましょう！  
同じような波の高さが続くとき1000波（2～3時間）に1波は2倍近い波が出現します。

#### [事例2]

釣り中に岩場の海苔で足を滑らせて落水したもの。

磯場は足元の状態が悪く危険です。滑りにくい靴を着用し、周りに注意して行動しましょう。

# 7. 1人での釣りは危険！

## 釣り中の海中転落海難 単独・複数行動別の死亡率（H25-29年 10・11月累計）

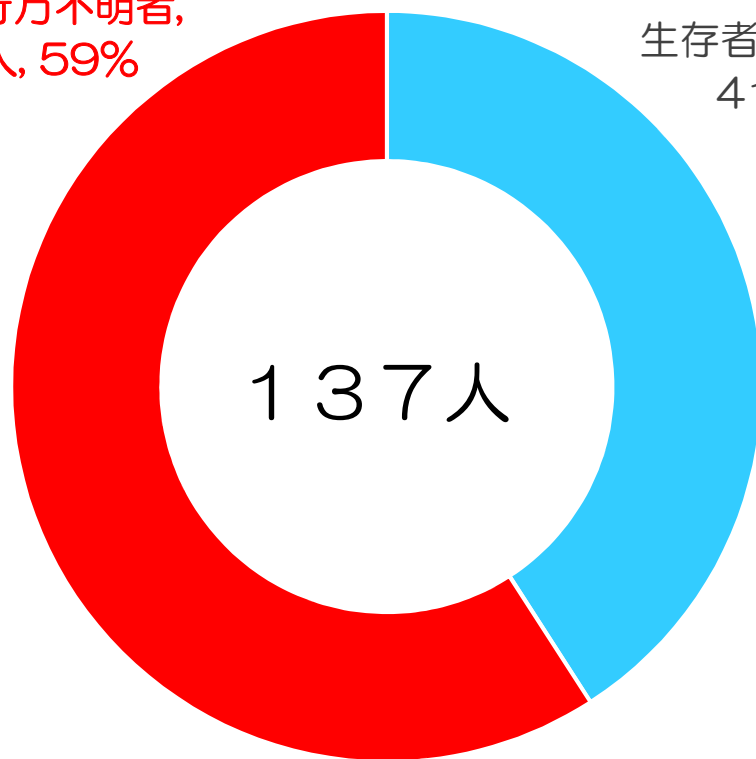
単独行動は複数行動に比べ、**死亡率が約2倍**になります。釣り場では複数行動に努め、お互いに注意しましょう。



【単独行動】

死者・行方不明者,  
81人, 59%

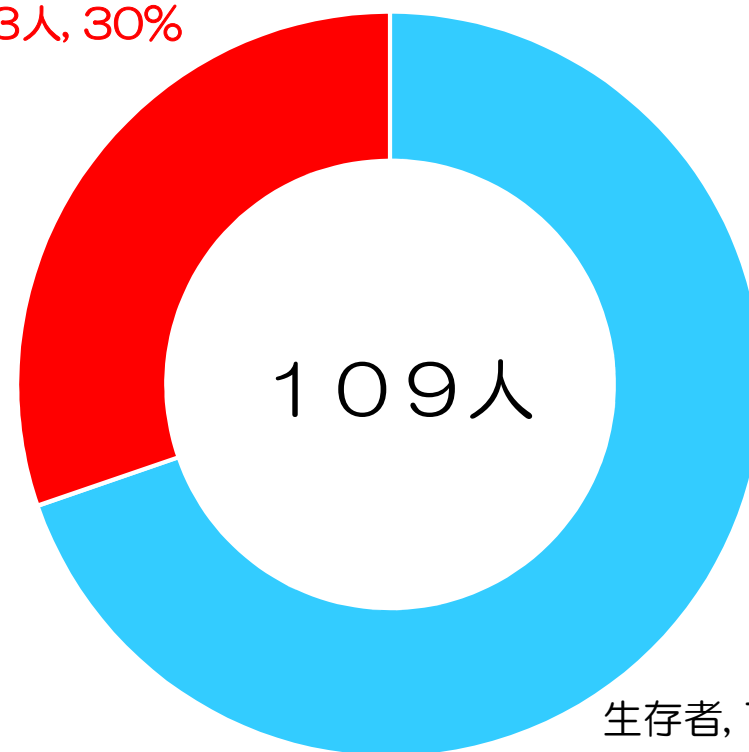
生存者, 56人,  
41%



【複数行動】

死者・行方不明者,  
33人, 30%

生存者, 76人,  
70%





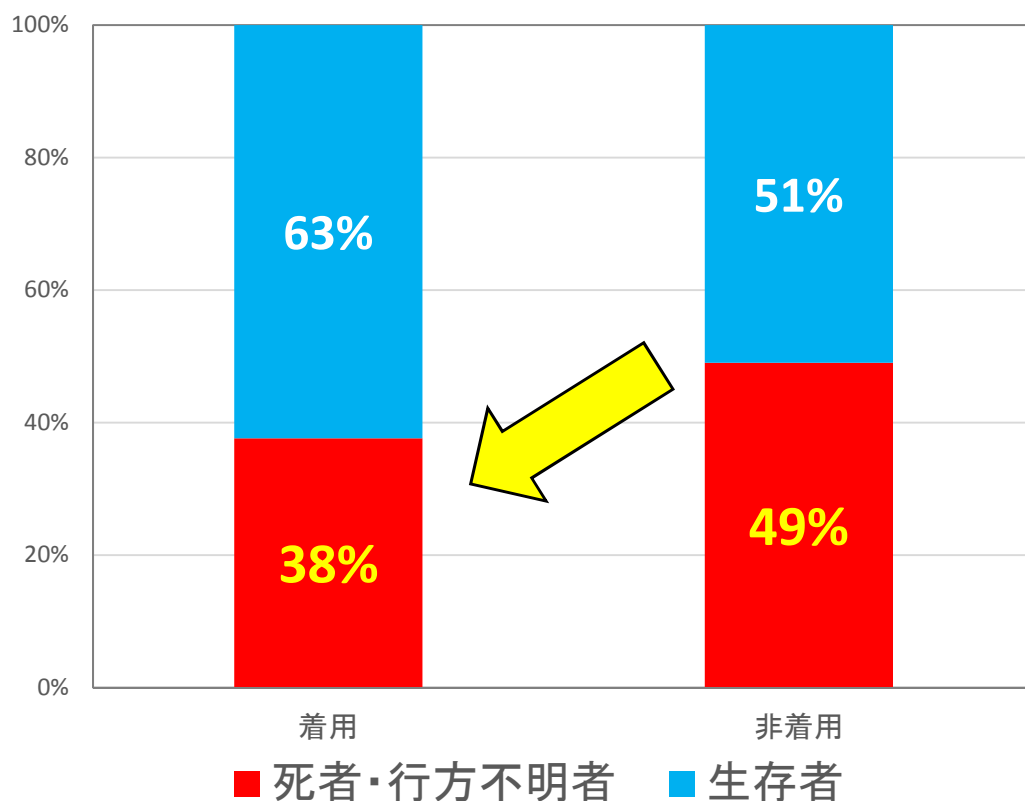
## 8. 救命胴衣は正しく着用しよう！

### 釣り中の海中転落海難 救命胴衣と死亡率（H25-29年 10・11月累計）



救命胴衣を着用することにより、死亡率が下がります。ただし、救命胴衣は適切に点検・着用しなければ、正しく機能しない恐れがあります。

【救命胴衣着用の有無による死亡率の変化】



【救命胴衣着用が正しく着用されていない事例】

事故者は釣り中に岸壁から落水したが、ボンベが正しく接続されておらず、救命胴衣が正常に作動せず溺死したものの。

- ベルトや股紐はしっかりと締めたり結び、救命胴衣を身体へ密着させましょう！
- 使用前には破損等がないか点検し、膨張式にあってはボンベが正しく取り付けられているか、水感知センサーの交換時期が過ぎていないか等も確認しましょう！

海上保安庁では、「海の安全情報」で全国各地で観測した気象情報やの安全に関係する情報を提供しています。

事前に天気や海の状況を確認して楽しく遊びましょう。



## 沿岸域情報提供システム 海の初心者でもわかる!

# 海の安全情報

Maritime Information and Communication System

### 海の安全情報で提供している様々な情報

- 1 気象現況**  
 日本沿岸の灯台等の観測データで観測した気象情報(風速・風向・気圧・波高など)を30分間ごとに更新し、提供しています。
- 2 気象警報・注意報等**  
 気象庁が発表する気象警報・注意報等をリアルタイムに提供しています。
  - 気象警報
  - 気象注意報
  - 特別警報
  - 特別警報
  - 特別警報
  - 特別警報
- 3 緊急情報**  
 海上保安庁が発表する緊急情報をリアルタイムに提供しています。
  - 提供情報
  - 三宅島周辺に関する情報
  - 台湾の海況、津波の発生等に付随する海域内における危険海域に関する情報
  - 船舶の航行、航行禁止等の危険 航行に関する情報
  - 船舶の航行の危険 航行に関する情報など
- 4 海上安全情報**  
 海上工事・海上行幸等による交通規制情報等を提供しています。
- 5 ライブカメラ**  
 観測所等に設置したウェブカメラの動画・画像を提供しています。

テレホンサービス  
ホームページ  
電子メール

気象現況  
気象警報・注意報  
区域緊急情報  
船舶航行の危険情報  
海上工事  
ライブカメラ

海上保安庁 JAPAN COAST GUARD

150th ANNIVERSARY

## スマートフォン用サイト

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>

各情報のアイコンをタップすると情報の詳細が表示され、さらにタップすると詳細な情報が表示されます。

- 観測地の検索**  
観測地の検索・結果を表示します。
- 気象現況**  
観測地のアイコンをタップすると「風速、風向き」の取組等が閲覧できます。
- 海域情報**  
観測地のアイコンをタップすると船舶事故が多発する海域などの情報が閲覧できます。
- 緊急情報**  
緊急情報のアイコンをタップすると航行船舶に関する緊急情報が閲覧できます。
- 気象警報・注意報等**  
気象警報・注意報をタップすると気象庁が発表する気象警報・注意報を確認できます。

スマートフォン用です。

## パソコン用サイト

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/>

## 携帯電話用サイト

<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/index.html>

●本サービスは無料でご利用いただけますが、サービスを利用するために必要なインターネットやウェブアクセス、電子メールの送受信等に必要となる費用(通信料)については利用者の負担となります。